

地域共生ステーション【北のステーション部会⑦】 開催報告

北のステーション部会(第7回)

地域での取組を具体化して、始めよう！

■日時 平成26年3月2日(日)10:00~12:30

■場所 北小学校 多目的室

■参加者 23人

■プログラム

- ①前回までの振り返り
- ②ワークショップ:地域での取組を具体化しよう！
- ③今後の進め方:取組チームづくり

北のステーション部会として、地域における取組をより具体化していくために、4つのグループに分かれて、「地域でやってみたいこと」「地域で必要だと思うこと」、それに対して「自分(自分たち)でできること」をまとめ、発表して共有しました。

グループ発表！

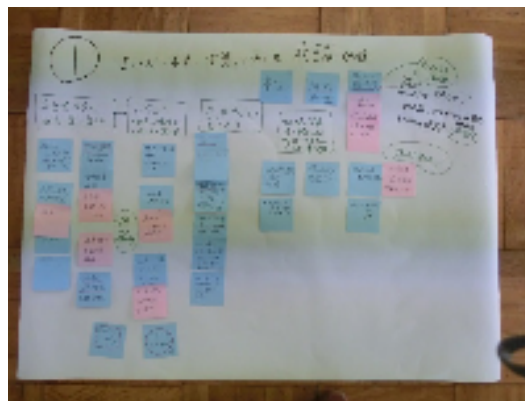
①グループ

市民が自主性をもって継続していける仕組みが必要。やる気と時間のある人(=世話人)を集め、行政とも協働しながら進めていく。ステーションを地域に出るきっかけとなる自然に集まれる場として考える。建物ありきではない。

★何よりも“楽しく”できる場をつくることで人は集まってくる。

→地域にある楽しそうなところ(サロンなど)を見に行こう！

→小さくても地域で自分たちでやっていこう！



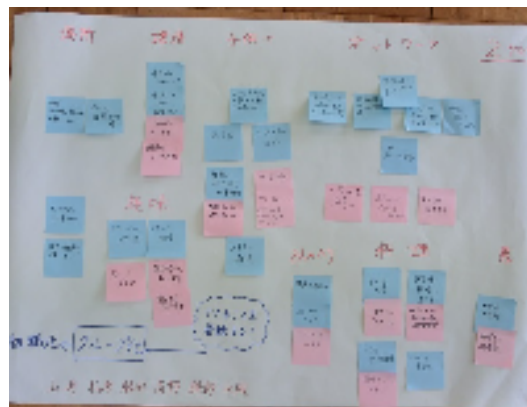
地域共生ステーション【北のステーション部会⑦】 開催報告

②グループ

地域におけるネットワークをつくる～あいさつを通して、世代を越えてのつながり。

★地域の人たちのいろんなできることを集めて登録し、グループ化して組織化していこう。

- ・子どもたちに自然の遊びを！
- ・ごみ拾いや自然観察を通して川をきれいに！
- ・地域の中心となる場所にステーションをつくる。



③グループ

自分たちのやれることを考える。

人が集まる場をつくり、出かけるきっかけを提供して、

★若い人たちや男性の地域への参加・関わりを促す。

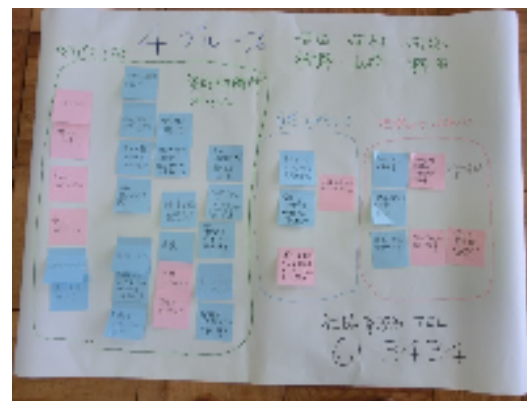
- ・香流川で焼き肉パーティー
- ・カフェや飲み屋・・・昔の“たまり場”喫茶店の復活
- ・自宅の居間を開放してのカフェ+子どもの居場所づくり



④グループ

地域の取組を実現できる場所、そして、“ふらっと”ひとりで来ても楽しめる場としての地域共生ステーションをつくる。

- ・10年後の居場所を今つくる。
- ・みんなで何か作る。(アートフラワー、絵手紙、お茶会・・・)
- ・長久手の自然を見直し、守る。(香流川、丘陵地・・・)
- ★自治会やシニアクラブで地域のささえあい
～“おせっかい”お婆さんがあちこちに・・・



地域共生ステーション【北のステーション部会⑦】開催報告

今後、これまでやってきたワークショップのカタチを越えて、「取組チーム」をつくることとなり、各グループごとに、『イチ押し(=これはすぐやりたい!)』の企画を出してもらいました。参加メンバーがそれぞれ選んでエントリー(参加登録)しました。

それぞれの取組をコーディネート(連携・調整・支援)する運営チームも発足することになり、いよいよ、地域独自の取組が始まります！

今回生まれた取組は、はじめは小さくても、「まず、やってみよう！」という参加メンバーの熱意で大きく育てていきましょう！

取組チーム

- 子ども(小学生)たちに勉強会
- 香流川観察会
- 朝市
- ガーデンパーティー
- 草掛公園に花植
- しゃべり場
- 野菜作り

運営チーム (コーディネーター)

- 進捗状況を見る
- 必要な支援をする
- 全体の枠組を考える

今後の取組のススメ方

- それぞれの取組をやりながら考え、悩み、進めていく
- 北のステーションの全体像をつくっていく
- 自分たちの言葉で話せるように、共通のフレーズを考える

